

## 令和7年度富山市交通安全対策協議会合同部会 議事概要

1 日 時 令和8年2月19日（木） 午後2時～3時

2 場 所 富山市役所 東館8階 大会議室

3 出席者 委 員：別紙出席者名簿のとおり

事務局：清水防災危機管理部次長、谷澤危機管理課課長、内田危機管理課主幹、柴野危機管理課主幹、出島危機管理課副主幹

4 内 容

(1) 林交通安全教育部会長 挨拶

(2) 議事

報告案件

① 令和7年中の富山市の交通事故状況について（中央警察署交通官）

議 題

① 令和8年度富山市交通安全推進計画（案）について

② 令和8年度における富山市交通安全活動（案）について

会議の様子



### (3) 主な質疑等

#### 【交通事故状況および統計の考え方について】

委員：計画案にある統計資料において、全交通事故件数と、区分ごとの事故件数の内訳を合計した数が一致しない。これは事故の当事者（甲・乙）をそれぞれ積算していることから、内訳の合計が実際の件数より多くなるという認識でよいか。また、高齢者の定義を一律「65歳以上」とするのではなく、例えば「80代、90代」といった区分を設けることで、家族への免許返納の働きかけ等がしやすくなるのではないか。

事務局：事故件数の算出についてはご指摘の通り、当事者ごとに積算するため合計は一致しない。高齢者の定義についてのご意見は、今後の参考として記録させていただく。

#### 【自転車損害賠償保険への加入義務化の周知について】

委員：計画案にある自転車損害賠償保険への加入義務化について、自動車のように車両にかかるものではなく、個人にかかる保険という認識でよいか。また、自転車市民共同利用システム（アヴィレ）等の利用時における、保険加入有無の確認についてはどのように考えているか。

事務局：県の計画に基づき加入義務化が進められるが、詳細については現在県で検討中である。アヴィレ等の対応についても、情報を整理した上で共有したい。

なお、4月から導入される、自転車の違反に対する「交通反則通告制度」については、広報誌での特集やデジタルサイネージ、出前講座の新メニュー追加等により、積極的に周知啓発を行っていく。

#### 【冬季の道路安全（融雪装置および除雪）について】

委員：朝の冷え込みが激しい際、融雪装置の水が非常に高く上がり、通過する車のフロントガラスにかかって瞬時に凍り付く箇所がある。視界が遮られ非常に危険なため、点検や調整をお願いしたい。  
また、今年のように降雪が多い際、除雪車が交差点の雪を横断歩道上に山積みにし、子どもの背丈を超える高さになっている箇所がある。地域の団体で代わりに除雪していることもあるため、市として対応をしてもらいたい。

事務局：具体的な場所を確認した上で、建設部等の担当部局へ情報共有したい。

【横断歩道の安全確保（照明設備）について】

委員：横断歩道に設置されている照明設備が、雪の影響などで向きが変わり、横断歩道を適切に照らしていない場合がある。夜間の視認性を確保するため、点検を行ってほしい。

事務局：具体的な場所を確認した上で、関係機関へ情報共有したい。

【ハード面における行政の対応（標識・街路樹等）について】

委員：本会議で取り上げられている活動はソフト面が中心だが、実際には、標識の色褪せや街路樹で標識が隠れている箇所があるなど、ハード面の課題が多い。ニューヨーク・タイムズ紙掲載の影響等により、観光客の増加も見込まれるため、安全で楽しめるまちづくりに向けて、対応をお願いしたい。また、本会議にお集まりの関係者の皆さんのご協力も併せてお願いしたい。

事務局：ハード面の整備については、予算や計画に基づき優先順位を設けて対応している。市の交通安全に関する施策については、5月に開催予定の総会にて、「交通安全実施計画」という形で説明予定である。いただいたご意見は、関係部局へ情報共有したい。

【組織体制および関係機関の協力について】

委員：本会の部会構成において、「高齢者交通事故防止部会」はあるが、子どもに関する部会がないのはなぜか。次年度に向けて検討してほしい。また、例年行われている新一年生の歩行訓練や自転車教室において、交通安全協会や指導員、警察の方々に専門的な指導をいただけることで、子どもたちの意識向上に繋がっており大変感謝している。

事務局：子どもの交通安全教育については、「交通安全教育部会」が担っており、本会議でも、学校関係者等にご参加いただいている。引き続き、関係機関と連携し、指導を行っていく。

※ 令和8年度富山市交通安全推進計画（案）は、委員からのご意見や、県交通安全推進計画をふまえ修正し、作成することを前提として了承された。

※ 発言内容を一部整理して掲載しています。